

道

NO. 12

2012. 4. 27

『3年生になって』の作文から 4組編

・4月1日、私はついに3年生になりました。『3年生』という言葉聞いて、まず私の頭の中に思い浮かぶことといえば、『受験』『部活の引退』『最上級生』などです。『受験』のことを考えると、とても重い気持ちになります。受験対策といえるかは分かりませんが、今は1・2年生の復習をしています。とりあえず、何かしら勉強をしておかないとまずいなと思っているので、英語や数学を中心として毎日勉強しています。勉強の日々は、正直いうとつらいです。でも、この時期につらいなんて言っていたら、これからはますます不安になります。私は塾にも行っていませんので、とりあえず夏期講習だけは・・・と思っています。こんな私でも、一応行ってみたいという高校を見つけることができました。その高校は、簡単に入れるような高校ではありません。今の私では確実に無理です。でも、目標となる高校を見つけられたことは私にとって、勉強を毎日続けるという大きなきっかけつくってくれました。その高校に受け入れてもらえるように、毎日気を引き締めて頑張っていこうと思います。

そして、『部活引退』・・・私は2年生の夏休み位から、部活が本当に楽しくて、部活がある日は早く学校に行きたいと思うようになりました。正直2年生になったばかりの頃はチームワークがバラバラで、いやがらせをし合ったりなど、重い悩んだ時もありましたが、今思えばバカバカしいです。引退なんて、まだまだ先のことだ。なんて思っていました。あと3ヶ月しかありません。私たちの部活の夢は、『団体』で勝つということです。私たちの代の団体は、正直弱くてコーチにも、何とかしないとダメだと言われてしまい、残り2回ある団体戦を勝てるように毎日頑張っています。悔いの残らない成績を残したいと思っています。

そして、私たちはいよいよ『最上級生』です。向中生の顔と言われても過言ではないという責任が私たちにまわってきてしまいました。先輩方がいたから、安心して過ごせた中学校生活。でも、そんな甘えたことは、もう通用しません。この向中を私たちが引っ張っていかなければいけないのです。もっと大きなことを言えば、向中生最後の3年生ということです。向中最後の卒業生ということで、向中の歴史に傷をつけないようにつねに心がけて、生活をしていこうと思っています。そして、後輩からもしたってもらえて、信頼してもらえて、尊敬してもらえる人になりたいと思います。2年間の中学校生活、振り返ってみればもっと勉強しておけば良かった。もっと体力をつければ良かったなど、後悔することばかりで、自分自身がとてもなまけなく思います。しかし、過去を変えることはできません。でも、これからの自分を変えることは、まだ可能だと思っています。同じあやまちをおかさないようにこれからの毎日を一日一日大切にしていきたいです。勉強する時は、勉強する。遊ぶ時は、遊ぶという一つひとつのけじめをつけていこうと思っています。

中村 綾乃

・3月に入り、4月からは3年生としての自覚を持ち、勉強を中心に進路を考えていなくてはならないと、改めて感じるようになった。今までの中学校生活2年間では3年生になったら、より多くの学力や行きたい高校に行くための準備が必要だと考えてきた。しかし、今は正直何からはじめればよいのか分からない。例えば勉強だと、3年生の勉強と1・2年の復習があり、今は3年生の勉強だけで精一杯なのに、1・2年の復習もしなくてはならない。だから、あの時先生が何度も言っていたことをしっかりと聞いていけばよかったと後悔している。また、高校に向けて行きたい学校を決めなくてはと考えているが、たくさん高校がありよく分からない。この時期にこんなことを言っているのか分からないが、一つひとつ今やらないといけないものから、こなしていきたいと思う。また、3年生になって残りの中学校生活が、あとわずかしかならないことに気づいた。入学した頃比べると、あたりまえだがまったく違う立場にいる。しかし、今までの中学校生活があつという間だったので、入学した頃の気持ちとそれほど変わっていないような気がする。入学したての頃は、3年間はあつという間に過ぎるというのは分かっていたけれど、そう思っているうちに3年生になってしまった。そう思うと、もっと残りの中学校生活を大事にしないといけなく感じた。その残りの中学校生活の中で、特に大切なものといえば、修学旅行だと思う。この修学旅行を成功させるためにも、これからの学校生活を大切にしていきたいと思う。

田地野宏規

・4月1日春休みの真っ最中、暦上私たち元2年生はついに3年生となり、4月6日正式に3年生としての学校生活が始まることになりました。始業式などでは3年生と称され、また部活でも3年生と呼ばれるようにもなったのですが、中学3年と聞くともう受験のイメージしかなく、2年生の時からも先生方が都立だの入試だの、冬にはそればかりで勉強が嫌いな私は、もはや進級なんてしたくなかったなど過去を振り返るばかりでした。本当にそれぐらい3年生という名の受験生になりたくありませんでした。ですが、今年度は新しい高校への準備期間でもあり、違う学校へ来年は行くことになるので、頑張れば頑張るほど行ける高校のレベルが高くなり、更には自分の評価存在価値が上がるチャンスだと考えると、悪いことばかりではないのかなとも思えて、少しもやもやしています。

6日の始業式の日、私はどんなクラスに所属するのか、すごく緊張していました。できるだけ平和なクラスがいいなとか、何かで優勝できるクラスに入りたいなとか考えていましたが、結局見てみると女子の人たちが優しい人ばかりで、それまでの緊張を上回るぐらいの安心で埋めつくされました。良い人たちばかりのクラスでよかったです。このクラスで、学年行事も頑張れたらいいなと思えました。私は、今年度新たにできた”4組”でした。

4組になって先生の話があつて気付いたのですが、すごく近くに運動会があります。この運動会という学校行事は、私たち3年生にとっては最後の参加になることにも今更気付きました。思えば、これから行われる全ての行事が、私たちからしたら最後の向中生としての参加です。あつという間のようで、ずい分と濃密な2年間でした。近々行われるその運動会も悔いのないよう楽しみたいです。

3年生といえば受験生で、受験生といえば勉強です。今まで塾とか行ってなくても、とくにお金がかかるだけかなと思って気にしなかったけど、やっぱり3年生ともなると行かないといけなという不安が押しよせてきます。まだ悩んでいますが塾に行って、せめて強制的にでも勉強時間を作っていこうと考えています。そして、高校受験に備えて、頭を整理していこうと思っています。勉強はやっぱ嫌だけど、いい高校に行けるように頑張りたいです。